

デジタルヘルスケア製品開発支援の専門家コミッティ始動

～様々な業種の専門家集団が多角的にアドバイスします～

横浜市では、IoT分野の「I・TOP 横浜」と、健康・医療分野の「LIP.横浜」の2つのプラットフォームを活用し、デジタルヘルスケア分野の新技术・新製品の開発を支援する「デジタルヘルスケアサポート拠点」を運営しています。

今回、拠点における新たな支援メニューとして、様々な業種から構成される専門家集団(コミッティ)を組織し、製品の開発フェーズに応じたヒアリングやアドバイスを行い、市場に求められる製品・サービスのための支援を実施します。

また、専門家コミッティの始動にあわせ、セミナー「デジタル×ヘルスケア～デジタルで加速するヘルスケア産業のいま～」を開催します。

専門家コミッティとは

ヘルスケア関連の既存・新規事業に関して知見のある様々な業種の専門家によって組織された集団(コミッティ)です。月に1回程度、コミッティメンバーが一堂に会し、多角的な視点で相談者へのアドバイスをを行います。

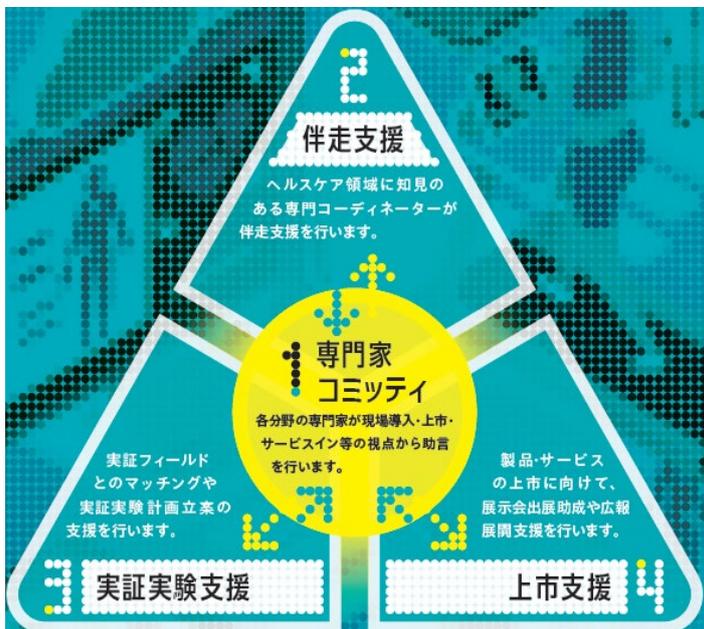
専門家コミッティの助言内容

- 1 投資家やベンチャーキャピタル等の経験を持つメンバーが、**投資対象としての助言**を行います。
- 2 事業コンサルタントの経験を持つメンバーが、**ビジネスモデルの助言**を行います。
- 3 新規製品の上市経験を持つメンバーが、**製品価値についての助言**を行います。
- 4 医師や介護士等の現場で活躍されているメンバーが、**現場ニーズに照らし合わせた助言**を行います。

※専門家コミッティのメンバーについてはこちら[Q https://www.healthcare.yokohama/support/committee.php](https://www.healthcare.yokohama/support/committee.php)

デジタルヘルスケアサポート拠点での支援

デジタルヘルスケアサポート拠点は以下の支援メニューにより、デジタルヘルスケア分野に関連する新技术、新製品の開発を目指す中小企業・スタートアップ・大学研究機関を支援していきます。



【主な支援内容】

1 専門家コミッティによる助言

製品・サービスについて投資対象、ビジネスモデル、現場ニーズ等の視点から助言を行います。

2 伴走支援

コーディネーターによる伴走支援を行います。

3 実証実験支援

市内専門機関等との調整を横浜市が行います。

(例)市内専門機関(横浜市スポーツ医科学センター、横浜市総合リハビリテーションセンター等)、市内医療機関(横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター等)、市内福祉施設(地域ケアプラザ等)、市・区役所、市内企業 等

4 上市支援

展示会出展支援やプレスリリース支援を行います。

セミナープログラム「デジタル×ヘルスケア ～デジタルで加速するヘルスケア産業のいま～」

日時	令和4年7月14日(木) 13時～16時 (Zoom 配信)
主催	横浜市、公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団(木原財団)、 公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEA 横浜)
プログラム	・支援内容紹介 (15分) 横浜市、木原財団、IDEA 横浜 ・市場概況 (45分) 株式会社タナベ経営 白石氏 ・規制・これから等 (45分) 日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) 川崎氏 ・事例紹介① (30分) 株式会社ミレニア 新山氏 ・事例紹介② (30分) 株式会社ヒューマノーム研究所 瀬々氏
申込期限	令和4年7月13日(水)
申込方法	申込 URL (https://digitalhealth0714.peatix.com)

講師プロフィール



株式会社タナベ経営 ストラテジー&ドメインコンサルティング事業部

東京本部 白石 一志 氏

新卒で医療機器メーカーに入職し、病院の手術室をメインにルート営業を行う。製品を売るにとどまらず担当施設の業務改善・経営改善提案を実施。のちに医療機関や地域が抱える問題をより一挙に解決し、患者さんや地域医療に貢献したいと考え、ヘルスケア事業を中心に市場調査、生産性向上、集患/集客、新規事業立ち上げ、採用強化病床転換など様々なテーマに取り組む。特に、病院・介護施設向けにハンズオンでのコンサルティングを得意とする。



日本デジタルヘルス・アライアンス (JaDHA) 川崎 真規 氏

幼稚園から小学校低学年まで米国テキサス州で生活。帰国後は NHK「中学生日記」出演など子役として活動。2001年に大手日系IT企業に入社し、外資系コンサルティングファームを経て、2009年に(株)日本総合研究所に入社。弊社中国現地法人の副社長(副総経理)等で中国現地に10年滞在し、在中日系医療企業への戦略コンサルティングに従事。2009年～2019年における中国のデジタル活用社会への変遷を現地生活者として実体験。2019年4月に帰任し、2020年、2021年に弊社研究チームの医療政策に関する提言を取りまとめ。現在は、コンサルタントとして、日本の医療政策に関する提言と社会実装に従事。

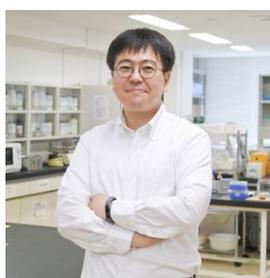


株式会社ミレニア アライアンス事業部 部長 新山 賢司 氏

2006年入社後、訪問看護事業部 部長を経て現職。

これまで認知機能検査を受ける事の無かった「中年層やもの忘れの無い就労層」が受検できる認知機能検査「あたまの健康チェック®」を国内民間で初めて事業化、全国の医療機関、研究機関、自治体、企業へサービスを提供。

国立研究開発法人や地方自治体、生命保険会社、全国のバス・トラック協会を対象とした講演実績多数



株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長 瀬々 潤 氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士(科学)。東京大学助教、お茶の水女子大学准教授、東京工業大学准教授、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)ゲノム情報研究センター研究チーム長、産総研人工知能研究センター研究チーム長を歴任。機械学習・数理統計の手法開発および生命科学の大規模データ解析を専門とする。米国計算機学会のデータマイニングコンテストKDD Cup 2001 優勝、Oxford Journals-JSBI Prize 受賞。産総研・人工知能研究センター招聘研究員、東京医科歯科大学 特任教授などを兼務。

デジタルヘルスケアサポート拠点



デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT 分野の I-TOP 横浜と健康・医療分野の LIP 横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団および横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

■場所

横浜市中区尾上町 1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

■利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

■利用方法

利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

■お問合せ先

デジタルヘルスケアサポート拠点事務局

support@healthcare.yokohama



LIP横浜とは…



横浜から、健康・医療分野(※)のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

LIP横浜では、企業・大学・研究機関で構成するネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、新技術・新製品の創出にチャレンジするベンチャー企業・中小企業等の皆様を応援するため、様々な取組を行っています。

(※)健康・医療分野:創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康 サービスなど

I-TOP横浜とは…



横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等(IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等)を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。

これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

お問合せ先

・デジタルヘルスケアサポート拠点、LIP 横浜、I-TOP 横浜に関すること
経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 TEL:045-671-3591

・専門家コミッティ、セミナーに関すること

公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広 TEL:045-502-4810

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。